

授業科目	臨床家族心理学特論		担当教員	平川 忠敏	
展開方法	講義	単位数	2単位 選択	開設時期	後期
【授業目標】					
<p>まず最初に、人間の心の成長・発達に関する家庭機能の重要性と、現代社会における家庭及び家族問題に関する理解を深める。次に臨床事例を通して家庭および家族問題に対する臨床心理学的アプローチや家族療法について、習得をはかる。</p>					
【授業方法】					
<p>講義形式を中心に行うが、ビデオ学習や受講生同士が多くのディスカッションを行うように授業をすすめる。</p>					
【授業計画】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業計画、講義内容の説明 2. 人間の成長・発達のための家庭および家庭機能 3. 現代社会における家庭と家族に関する諸問題 4. 臨床事例からみた家庭および家族関係①（不登校児の臨床事例を通して） 5. 臨床事例からみた家庭および家族関係②（非行の臨床事例を通して） 6. 家庭および家族問題に関する臨床心理学的アプローチ①（夫婦関係について） 7. 家庭および家族問題に関する臨床心理学的アプローチ②（親-子関係、きょうだい関係について） 8. 家庭および家族問題に関する臨床心理学的アプローチ③（祖父母-孫関係、三世代関係について） 9. 家庭療法の歴史 10. 家庭療法の実際①（理論とその特徴について） 11. 家族療法の実際②（家族システムのアセスメントについて） 12. 家族療法の実際③（技法について） 13. 家族療法の実際④（技法の適用について） 14. 家族療法の実際⑤（家族教育プログラムへの応用について） 15. まとめ、レポート提出 					
【評価方法】					
<p>出席状況、授業中でのディスカッション、レポート内容によって総合的に評価する。</p>					
【教科書・参考書】					
<p>教科書 亀口憲治著 家族システムの心理学 北大路書房 3,000円（税込）</p> <p>参考書 授業中に、随時紹介する。</p>					
【学生に期待すること】					
<p>講義内容の理解を基礎として、その後の自主的な発展的学習を期待する。予習として参考書を読むこと、復習として講義の内容を機会をとらえて実践すること。</p>					